

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	基本技術 I (安全)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	10 (1) 時間(単位)
対象学年	1学年		学期及び曜時限	前期	教室名	202、203、実習室
担当教員	藤澤真由美	実務経験とその関連資格	看護師・・・ 総合病院病棟勤務、小児救急外来で勤務。 看護教員・・・ 5年一貫看護学校教員,看護短期大学			
《科目目標》 1.対象に応じた看護実践できる力を養う。 2.援助の原理原則を基本に安全・安楽な援助実践を思考できる。 3.人間の健康に影響を及ぼす環境調整技術を安全に実践できる。						
《成績評価の方法と基準》 【評価方法】 終講試験 (20%)、課題(提出・内容)・授業態度(15%)で総合的に評価する。 【評価基準】 優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満する。【担当配点】藤澤:35点						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術II 看護実践のための援助技術 メディカ出版 参考: 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院 看護がみえる Vol.1 基礎看護技術 MEDIC MEDIA 看護学生のためのヒヤリハットに学ぶ看護技術 医学書院						
《授業外における学習方法》 事前学習(教科書を読む・動画を視聴する)と授業で分からないことを調べ復習する。 課題レポートを提出する						
《履修に当たっての留意点》 全ての看護技術の土台となる科目です。主体的に学習に取り組み知識・技術・態度の習得を目指しましょう。演習は事前学習を行って臨むこと。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 看護における安全の考え方と医療事故防止の取り組みを理解する 2. 感染の成立要件、標準予防策、感染経路別予防策の取り扱いを理解する 3. 手指衛生、個人防護用具の着脱を正しく理解できる	教科書		事前に指定されたテキストの個所を読み、わからない単語は調べておく
		各コマにおける授業予定	P114～134 1) 看護と看護技術 2) 感染予防を推進する技術			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 医療安全とは何かを説明することができる 2. 安全を脅かす要因とは何かを述べるができる 3. 患者誤認・誤薬の発生要因と予防策を述べるができる 4. インシデント・アクシデントを報告する際の要点を述べるができる	教科書		事前に演習内容に関するテキストを読み、動画を視聴しイメージトレーニングしておく
		各コマにおける授業予定	患者の安全・医療従事者の安全を守る技術			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	1. 感染予防の意義を理解し、手指衛生の重要性を認識し実行できる 2. 正しい個人防護具の選択と着脱ができる 3. 原理・原則に沿った基本的な感染予防行動ができる	教科書		事前に演習内容に関するテキストを読み、動画を視聴しイメージトレーニングしておく
		各コマにおける授業予定	P124～128 スタンダードプリコーション(手洗い、マスク着用、エプロン着脱)の実践 感染性廃棄物の取り扱い			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	外敵から身を守る技術が実践できる	教科書		事前に演習内容に関する動画を視聴しイメージしておく
		各コマにおける授業予定	必要な防護用具の着脱 P131～138 無菌操作、滅菌物の取り扱い、滅菌と消毒、感染予防のための組織と役割			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	外敵から身を守る技術が実践できる	教科書		事前に指定されたテキストの個所を読み、わからない単語は調べておく
		各コマにおける授業予定	P135～145 清潔・不潔操作、感染性廃棄物の取り扱いの実践			